

# 野村高金利国際機関債投信 (毎月分配型)

## 愛称：グローバルアシスト

### 運用報告書(全体版)

第100期(決算日2018年10月15日) 第101期(決算日2018年11月15日) 第102期(決算日2018年12月17日)  
第103期(決算日2019年1月15日) 第104期(決算日2019年2月15日) 第105期(決算日2019年3月15日)

作成対象期間 (2018年9月19日～2019年3月15日)

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
なお、当ファンドは、運用開始以来永らくご愛顧いただきましたが、2020年5月15日に信託期間満了となります。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2010年5月27日から2020年5月15日までです。	
運用方針	主として、円建ての外国投資信託であるノムラ・カレンシー・ファンド・スーパーナショナル・ボンドークラスA受益証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネー マザーファンド受益証券への投資を通じて、国際機関が発行する、信用力の高い、世界の国(新興国を含みます。)の通貨建ての債券を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保とキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。各受益証券への投資比率は、通常の状況においては、ノムラ・カレンシー・ファンド・スーパーナショナル・ボンドークラスA受益証券への投資を中心としますが、特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。	
主な投資対象	野村高金利国際機関債投信(毎月分配型)	ノムラ・カレンシー・ファンド・スーパーナショナル・ボンドークラスA受益証券および野村マネー マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	ノムラ・カレンシー・ファンド・スーパーナショナル・ボンドークラスA	国際機関が発行する、信用力の高い、世界の国(新興国を含みます。)の通貨建ての債券を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村マネー マザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
	野村高金利国際機関債投信(毎月分配型)	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への直接投資は行いません。
分配方針	野村マネー マザーファンド	株式への投資は行いません。
	毎決算時に、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行うことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

### 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104  
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産額	
		税金 分	込配 金					騰落 率
	円		円		%	%	百万円	
76期(2016年10月17日)	4,886		40	2.5	0.5	—	98.2	5,659
77期(2016年11月15日)	4,794		40	△1.1	0.6	—	97.5	5,471
78期(2016年12月15日)	5,127		40	7.8	0.7	—	97.6	5,774
79期(2017年1月16日)	5,090		30	△0.1	0.5	—	97.2	5,680
80期(2017年2月15日)	5,196		30	2.7	0.5	—	98.0	5,687
81期(2017年3月15日)	5,197		30	0.6	0.5	—	98.3	5,577
82期(2017年4月17日)	4,966		30	△3.9	0.6	—	97.0	5,286
83期(2017年5月15日)	5,205		30	5.4	0.7	—	97.5	5,507
84期(2017年6月15日)	5,087		30	△1.7	0.8	—	98.1	5,333
85期(2017年7月18日)	5,205		30	2.9	0.7	—	97.3	5,414
86期(2017年8月15日)	5,067		30	△2.1	0.6	—	96.8	5,198
87期(2017年9月15日)	5,201		30	3.2	0.7	—	98.3	5,246
88期(2017年10月16日)	5,087		30	△1.6	0.7	—	97.6	5,074
89期(2017年11月15日)	4,887		30	△3.3	0.6	—	97.7	4,803
90期(2017年12月15日)	4,945		30	1.8	0.7	—	96.8	4,790
91期(2018年1月15日)	5,120		30	4.1	0.6	—	96.2	4,878
92期(2018年2月15日)	4,961		30	△2.5	0.6	—	96.9	4,679
93期(2018年3月15日)	4,928		30	△0.1	0.7	—	97.2	4,518
94期(2018年4月16日)	4,870		30	△0.6	0.6	—	98.0	4,414
95期(2018年5月15日)	4,662		30	△3.7	0.5	—	97.1	4,208
96期(2018年6月15日)	4,416		30	△4.6	0.5	—	96.1	3,923
97期(2018年7月17日)	4,532		30	3.3	0.4	—	97.0	3,982
98期(2018年8月15日)	4,081		30	△9.3	0.5	—	97.2	3,555
99期(2018年9月18日)	3,933		30	△2.9	0.9	—	97.4	3,404
100期(2018年10月15日)	4,085		30	4.6	0.8	—	97.8	3,513
101期(2018年11月15日)	4,014		30	△1.0	0.8	—	97.5	3,395
102期(2018年12月17日)	3,994		20	0.0	0.9	—	96.7	3,284
103期(2019年1月15日)	4,029		20	1.4	0.8	—	97.1	3,290
104期(2019年2月15日)	4,060		20	1.3	0.8	—	96.0	3,279
105期(2019年3月15日)	4,048		20	0.2	1.0	—	96.6	3,238

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\* 投資信託組入比率は、「ノムラ・カレンシー・ファンドスーブラナショナル・ボンドークラスA」の組入比率を記載しております。

\* 新興国通貨建ての国際機関債の値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	信 託 券 率
		騰 落 率	騰 落 率				
第100期	(期 首) 2018年9月18日	円 3,933	% -	% 0.9	% -	% 97.4	% 97.4
	9月末	4,057	3.2	0.8	-	97.7	97.7
	(期 末) 2018年10月15日	4,115	4.6	0.8	-	97.8	97.8
第101期	(期 首) 2018年10月15日	4,085	-	0.8	-	97.8	97.8
	10月末	4,034	△1.2	0.8	-	97.4	97.4
	(期 末) 2018年11月15日	4,044	△1.0	0.8	-	97.5	97.5
第102期	(期 首) 2018年11月15日	4,014	-	0.8	-	97.5	97.5
	11月末	4,087	1.8	0.6	-	96.9	96.9
	(期 末) 2018年12月17日	4,014	0.0	0.9	-	96.7	96.7
第103期	(期 首) 2018年12月17日	3,994	-	0.9	-	96.7	96.7
	12月末	3,936	△1.5	0.8	-	97.1	97.1
	(期 末) 2019年1月15日	4,049	1.4	0.8	-	97.1	97.1
第104期	(期 首) 2019年1月15日	4,029	-	0.8	-	97.1	97.1
	1月末	4,103	1.8	0.8	-	97.6	97.6
	(期 末) 2019年2月15日	4,080	1.3	0.8	-	96.0	96.0
第105期	(期 首) 2019年2月15日	4,060	-	0.8	-	96.0	96.0
	2月末	4,098	0.9	0.9	-	96.4	96.4
	(期 末) 2019年3月15日	4,068	0.2	1.0	-	96.6	96.6

\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

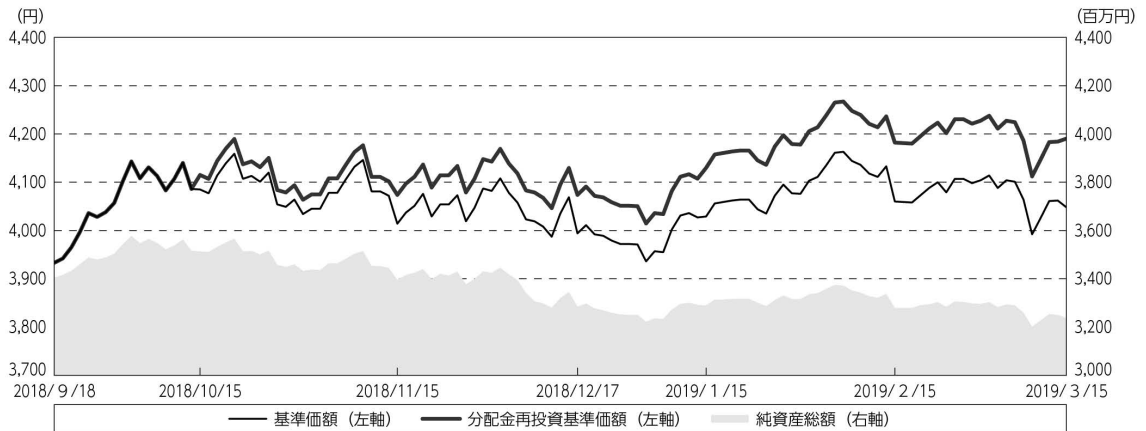
\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\* 投資信託証券組入比率は、「ノムラ・カレンシー・ファンド・スーブラナショナル・ボンドークラスA」の組入比率を記載しております。

## ◎運用経過

### ○作成期間中の基準価額等の推移



第100期首：3,933円

第105期末：4,048円（既払分配金（税込み）：140円）

騰落率：6.5%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2018年9月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、第100期期首の3,933円から第105期期末には4,048円（分配後）となりました。この間、合計140円の分配金をお支払いしましたので、分配金を考慮した値上がり額は255円となりました。

#### (上昇要因)

- ・保有する債券からの利息収入
- ・ブラジルレアルが対円で上昇したこと

#### (下落要因)

- ・メキシコペソが対円で下落したこと

## ○投資環境

当作成期は、投資を行ったブラジルリアルおよび南アフリカランドは対円で上昇、メキシコペソは対円で下落しました。

2018年末には世界景気への先行き不安から米国株式市場が大幅に下落したことに伴い、リスク回避の流れから新興国通貨は全般的に下落しました。2019年初以降は、米国の利上げ姿勢が後退する中で投資家のリスク選好度が回復し、新興国通貨も堅調に推移しました。

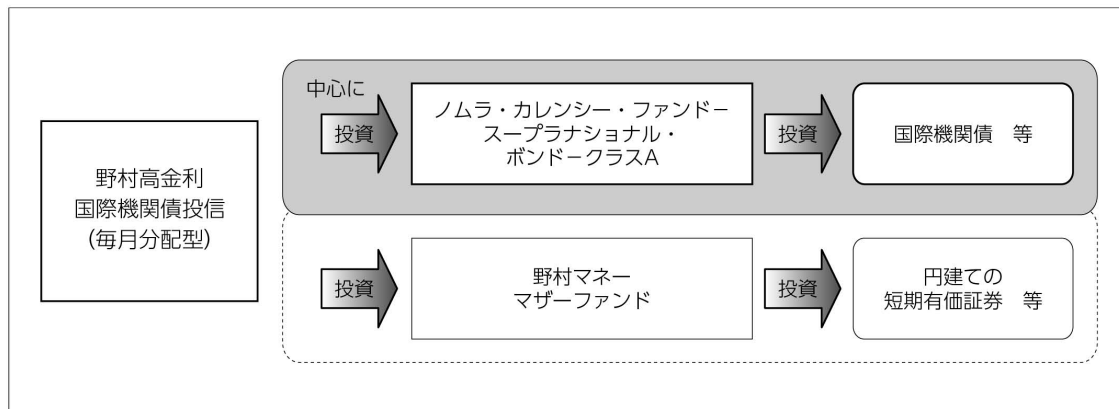
メキシコでは、2018年10月にロペス・オブラドール大統領が新空港建設計画について国民への意識調査を行い、同計画の中止を決定しました。また、2019年1月以降順次発表された国営石油公社ペメックスに対する支援策は市場の期待を下回る内容となり、政権運営に対する懸念が高まる中、通貨は対円で軟調に推移しました。

ブラジルでは、2018年10月の大統領選挙において決選投票の末、ボルソナロ氏が勝利しました。混戦の大統領選を終えた安心感や、ボルソナロ新大統領の政権運営に対する期待感から、通貨は対円で堅調に推移しました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

ファンドの仕組み（ファンド・オブ・ファンズ方式）

〔野村高金利国際機関債投信（毎月分配型）〕は、〔ノムラ・カレンシー・ファンドースー  
プラナショナル・ボンドークラスA〕 受益証券および〔野村マネー マザーファンド〕 受益  
証券を投資対象とするファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。



### 〔野村高金利国際機関債投信（毎月分配型）〕

〔野村高金利国際機関債投信（毎月分配型）〕が投資を行う各受益証券の投資比率については、通常の場合においては、〔ノムラ・カレンシー・ファンドースープラナショナル・ボンドークラスA〕 受益証券への投資を中心とし、概ね90%以上を目処とします。

#### 〔ノムラ・カレンシー・ファンドースープラナショナル・ボンドークラスA〕

国際機関が発行する、信用力の高い債券を主要投資対象とし、インカムゲインの確保とキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。新興国の通貨の中から、相対的に金利の高い複数の通貨を選定し、国際機関債等への投資および為替予約取引等の活用を通じて、選定した通貨によるポートフォリオを構築し、当該通貨への投資効果を追求します。

#### 〔野村マネー マザーファンド〕

主として、円建ての短期有価証券等に投資を行い、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行います。

## 〔野村高金利国際機関債投信（毎月分配型）〕

### ＜投資信託証券等の組入比率＞

〔野村高金利国際機関債投信（毎月分配型）〕は、当作成期を通して資金の流入に応じて〔ノムラ・カレンシー・ファンドスーパーナショナル・ボンドークラスA〕受益証券を売買し、概ね高位の組入れを行いました。〔ノムラ・カレンシー・ファンドスーパーナショナル・ボンドークラスA〕受益証券と〔野村マネー マザーファンド〕受益証券の組入比率は、それぞれ当作成期末時点で96.6%程度、1.6%程度としました。

### 〔ノムラ・カレンシー・ファンドスーパーナショナル・ボンドークラスA〕

### ＜ポートフォリオ＞

#### 組み入れ通貨の選定

金利水準やファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）等を勘案した結果、組み入れ通貨の変更は行っておりません。当作成期末時点の組み入れ通貨はブラジルレアル、南アフリカランド、メキシコペソとなっております。

#### 通貨別配分

当作成期首には、通貨比率の順位をメキシコペソ、南アフリカランド、ブラジルレアルとしました。

#### ・ブラジル

当作成期首には、大統領選挙を控えて不確実性が高まっていたことから、ブラジルレアルの比率を低位としました。作成期間中には、大統領選を終え不確実性が後退したことからブラジルレアルの比率を中位に引き上げましたが、その後、財政健全化に向けた年金改革法案成立までの道のりが市場の見通しより不透明であると判断し、低位に引き下げました。

#### ・南アフリカ

当作成期首には、ラマポーザ政権が汚職根絶や財政収支の立て直し、慢性的な業績不振に喘ぐ国有企業の改革などを掲げていることを好感した一方、潜在成長率が低く、短期的には低成長が継続する可能性が高い中で市場の急激な変化に対する脆弱性が意識されやすいと考え、南アフリカランドの比率を中位としました。作成期間中には、政権が発表した2019年度予算案において、国営電力公社エスコムの抜本的な改革を行う姿勢を崩さなかったことを好感した他、新興国通貨全般に対する強気な見方を反映し、南アフリカランドの比率を高位に引き上げました。

## ・メキシコ

当作成期首には、高進するインフレ率に対する中央銀行の断固とした引き締め姿勢や、低迷する原油価格にもかかわらず財政収支が改善している点、恒常的な経常移転黒字により経常収支が安定している点などを評価し、メキシコペソの比率を高位としました。作成期間中には、ロペス・オブラドール大統領が新空港建設計画の中止を決定したことなどからメキシコに対する市場心理の冷え込みを危惧し、メキシコペソの比率を中位に引き下げました。

当作成期末時点での通貨比率は、メキシコペソ34.3%、ブラジルリアル31.2%、南アフリカランド35.0%、その他の通貨-0.5%としました。

## 組み入れ債券と信用格付け配分

当作成期を通して、AAA格の国際機関が発行する債券（国際機関債）を中心とした資産配分としました。またデュレーション（金利感応度）\*は、2年以内を維持しました。

\*デュレーション：金利がある一定の割合で変動した場合、債券・資産の価格がどの程度変化するかを示す指標です。この値が大きいほど金利変動に対する債券・資産価格の変動率が大きくなり、またこの値が小さいほど金利変動に対する債券・資産価格の変動率が小さくなります。

## **[野村マネー マザーファンド]**

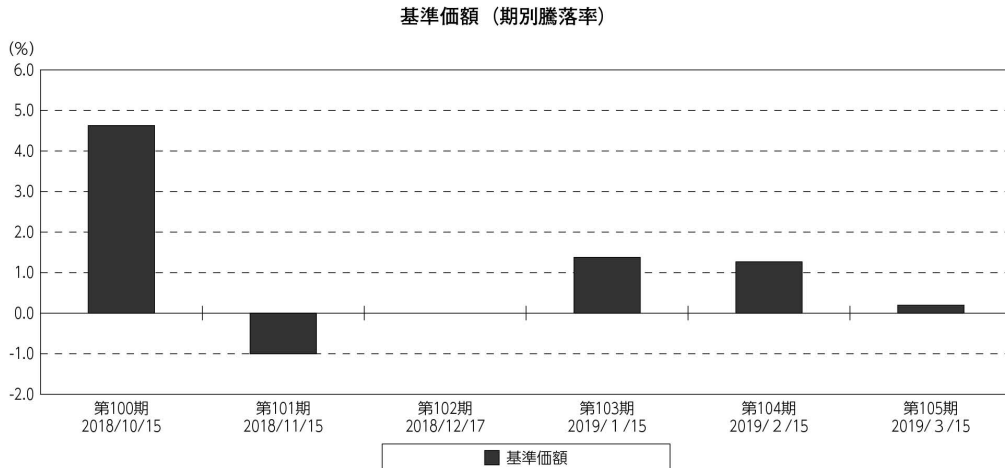
当作成期の運用につきましては、残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行い、あわせてコール・ローン等で運用を行うことで流動性の確保を図りました。



## ○当ファンドのベンチマークとの差異

新興国通貨建ての国際機関債の値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## ◎分配金

第100期から第105期までの収益分配金については、利子配当収入や基準価額水準等を勘案し、分配いたしました。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
	2018年9月19日～ 2018年10月15日	2018年10月16日～ 2018年11月15日	2018年11月16日～ 2018年12月17日	2018年12月18日～ 2019年1月15日	2019年1月16日～ 2019年2月15日	2019年2月16日～ 2019年3月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	30 0.729%	30 0.742%	20 0.498%	20 0.494%	20 0.490%	20 0.492%
当期の収益	30	30	20	20	20	20
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,258	1,273	1,297	1,312	1,326	1,339

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入で算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ◎今後の運用方針

### [野村高金利国際機関債投信（毎月分配型）]

ファンドの商品性に従い、[ノムラ・カレンシー・ファンド・スープレナショナル・ボンドークラスA] 受益証券への投資比率を引き続き高位に維持していく方針です。

### [ノムラ・カレンシー・ファンド・スープレナショナル・ボンドークラスA]

引き続き新興国の通貨の中から、相対的に金利の高い複数の通貨を選定し、国際機関債等への投資および為替予約取引等の活用を通じて、当該通貨への投資効果を追求します。

国際機関が発行する、信用力の高い債券を主要投資対象とし、インカムゲインの確保とキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。

#### ・投資戦略

金利水準とファンダメンタルズ、流動性、地域分散などを勘案した上で3～6通貨に投資を行います。通貨比率は、金利水準、ファンダメンタルズ、通貨見通し等を加味して決定します。

なお、当ファンドは証拠金規制に則り、規制対象取引の評価損益について取引の相手方と証拠金の授受を行う場合があります。

### [野村マネー マザーファンド]

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行い、あわせてコール・ローン等で運用を行うことで流動性の確保を図って運用いたします。

日本銀行によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資運用の際のコール・ローンの金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

#### ※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行われており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響をうけ、当該金融取引を行うための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

## ○1万口当たりの費用明細

(2018年9月19日～2019年3月15日)

項 目	第100期～第105期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 19	% 0.463	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 5 )	(0.132)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(13)	(0.316)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 1 )	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.001	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	19	0.464	
作成期間の平均基準価額は、4,052円です。			

\*作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\*各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年9月19日～2019年3月15日)

## 投資信託証券

銘 柄		第100期～第105期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	ノムラ・カレンシー・ファンドー スーブラナショナル・ボンドークラスA	口 —	千円 —	口 63,906	千円 210,004

\*金額は受け渡し代金。

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年9月19日～2019年3月15日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;野村高金利国際機関債投信（毎月分配型）&gt;

該当事項はございません。

&lt;野村マネー マザーファンド&gt;

区 分	第100期～第105期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 9,385	百万円 441	% 4.7	百万円 -	百万円 -	% -

平均保有割合 0.4%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

## ○組入資産の明細

(2019年3月15日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	第99期末		第105期末	
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
ノムラ・カレンシー・ファンドー スープレナショナル・ボンドークラスA	口 1,032,397	口 968,491	千円 3,128,225	% 96.6
合 計	1,032,397	968,491	3,128,225	96.6

\*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

\*評価額の単位未満は切り捨て。

## 親投資信託残高

銘 柄	第99期末	第105期末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村マネー マザーファンド	千口 49,354	千口 49,354	千円 50,366

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2019年3月15日現在)

項 目	第105期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	3,128,225	95.8
野村マネー マザーファンド	50,366	1.5
コール・ローン等、その他	85,517	2.7
投資信託財産総額	3,264,108	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第100期末	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末
	2018年10月15日現在	2018年11月15日現在	2018年12月17日現在	2019年1月15日現在	2019年2月15日現在	2019年3月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	3,546,933,284	3,425,729,237	3,305,768,504	3,314,001,582	3,300,282,296	3,264,108,290
コール・ローン等	61,777,137	62,929,944	79,401,730	69,869,762	41,346,271	85,515,968
投資信託受益証券(評価額)	3,434,784,819	3,312,427,965	3,175,995,446	3,193,760,492	3,148,564,241	3,128,225,930
野村マネー マザーファンド(評価額)	50,371,328	50,371,328	50,371,328	50,371,328	50,371,328	50,366,392
未収入金	—	—	—	—	60,000,456	—
(B) 負債	33,212,857	29,907,069	20,908,943	23,909,511	20,923,183	26,024,236
未払収益分配金	25,803,373	25,378,538	16,448,005	16,331,125	16,154,306	15,999,386
未払解約金	4,939,029	1,706,522	1,630,538	5,113,340	2,076,528	7,627,645
未払信託報酬	2,464,774	2,815,482	2,823,842	2,459,329	2,686,190	2,391,709
未払利息	89	137	152	134	63	69
その他未払費用	5,592	6,390	6,406	5,583	6,096	5,427
(C) 純資産総額(A-B)	3,513,720,427	3,395,822,168	3,284,859,561	3,290,092,071	3,279,359,113	3,238,084,054
元本	8,601,124,493	8,459,512,997	8,224,002,748	8,165,562,955	8,077,153,498	7,999,693,152
次期繰越損益金	△5,087,404,066	△5,063,690,829	△4,939,143,187	△4,875,470,884	△4,797,794,385	△4,761,609,098
(D) 受益権総口数	8,601,124,493口	8,459,512,997口	8,224,002,748口	8,165,562,955口	8,077,153,498口	7,999,693,152口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,085円	4,014円	3,994円	4,029円	4,060円	4,048円

(注) 第100期首元本額は8,656,357,270円、第100～105期中追加設定元本額は100,914,398円、第100～105期中一部解約元本額は757,578,516円、1口当たり純資産額は、第100期0.4085円、第101期0.4014円、第102期0.3994円、第103期0.4029円、第104期0.4060円、第105期0.4048円です。

## ○損益の状況

項 目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
	2018年9月19日～ 2018年10月15日	2018年10月16日～ 2018年11月15日	2018年11月16日～ 2018年12月17日	2018年12月18日～ 2019年1月15日	2019年1月16日～ 2019年2月15日	2019年2月16日～ 2019年3月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	41,123,761	40,531,688	39,324,557	29,557,423	29,448,849	28,944,569
受取配当金	41,126,109	40,535,004	39,328,079	29,560,469	29,451,369	28,947,604
支払利息	△ 2,348	△ 3,316	△ 3,522	△ 3,046	△ 2,520	△ 3,035
(B) 有価証券売買損益	118,066,170	△ 72,374,938	△ 36,526,288	17,822,351	14,244,256	△ 20,391,527
売買益	118,724,053	1,165,735	1,062,311	17,838,908	14,801,549	108,097
売買損	△ 657,883	△ 73,540,673	△ 37,588,599	△ 16,557	△ 557,293	△ 20,499,624
(C) 信託報酬等	△ 2,470,366	△ 2,821,872	△ 2,830,248	△ 2,464,912	△ 2,692,286	△ 2,397,136
(D) 当期損益金(A+B+C)	156,719,565	△ 34,665,122	△ 31,979	44,914,862	41,000,819	6,155,906
(E) 前期繰越損益金	△3,991,064,054	△3,788,478,143	△3,731,927,734	△3,715,410,181	△3,639,683,245	△3,574,138,510
(F) 追加信託差損益金	△1,227,256,204	△1,215,169,026	△1,190,735,469	△1,188,644,440	△1,182,957,653	△1,177,627,108
(配当等相当額)	( 249,992,318)	( 247,632,657)	( 242,800,393)	( 242,482,257)	( 241,486,907)	( 240,560,086)
(売買損益相当額)	(△1,477,248,522)	(△1,462,801,683)	(△1,433,535,862)	(△1,431,126,697)	(△1,424,444,560)	(△1,418,187,194)
(G) 計(D+E+F)	△5,061,600,693	△5,038,312,291	△4,922,695,182	△4,859,139,759	△4,781,640,079	△4,745,609,712
(H) 収益分配金	△ 25,803,373	△ 25,378,538	△ 16,448,005	△ 16,331,125	△ 16,154,306	△ 15,999,386
次期繰越損益金(G+H)	△5,087,404,066	△5,063,690,829	△4,939,143,187	△4,875,470,884	△4,797,794,385	△4,761,609,098
追加信託差損益金	△1,227,256,204	△1,215,169,026	△1,190,735,469	△1,188,644,440	△1,182,957,653	△1,177,627,108
(配当等相当額)	( 249,992,355)	( 247,632,704)	( 242,800,439)	( 242,482,288)	( 241,486,944)	( 240,560,099)
(売買損益相当額)	(△1,477,248,559)	(△1,462,801,730)	(△1,433,535,908)	(△1,431,126,728)	(△1,424,444,597)	(△1,418,187,207)
分配準備積立金	832,794,599	829,684,233	824,616,792	829,062,543	829,956,127	831,168,559
繰越損益金	△4,692,942,461	△4,678,206,036	△4,573,024,510	△4,515,888,987	△4,444,792,859	△4,415,150,549

\* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2018年9月19日～2019年3月15日)は以下の通りです。

項 目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
	2018年9月19日～ 2018年10月15日	2018年10月16日～ 2018年11月15日	2018年11月16日～ 2018年12月17日	2018年12月18日～ 2019年1月15日	2019年1月16日～ 2019年2月15日	2019年2月16日～ 2019年3月15日
a. 配当等収益(経費控除後)	40,502,921円	37,730,313円	36,516,517円	28,036,045円	27,649,057円	26,556,013円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	249,992,355円	247,632,704円	242,800,439円	242,482,288円	241,486,944円	240,560,099円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	818,095,051円	817,332,458円	804,548,280円	817,357,623円	818,461,376円	820,611,932円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,108,590,327円	1,102,695,475円	1,083,865,236円	1,087,875,956円	1,087,597,377円	1,087,728,044円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	1,288円	1,303円	1,317円	1,332円	1,346円	1,359円
g. 分配金	25,803,373円	25,378,538円	16,448,005円	16,331,125円	16,154,306円	15,999,386円
h. 分配金(1万口当たり)	30円	30円	20円	20円	20円	20円

## ○分配金のお知らせ

	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
1万円当たり分配金（税込み）	30円	30円	20円	20円	20円	20円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

該当事項はございません。

## ○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2019年3月15日現在）

## &lt;野村マネー マザーファンド&gt;

下記は、野村マネー マザーファンド全体（11,051,905千口）の内容です。

## 国内公社債

## (A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	第105期末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	530,000 ( 530,000)	531,152 ( 531,152)	4.7 ( 4.7)	— (—)	— (—)	— (—)	4.7 ( 4.7)
特殊債券 (除く金融債)	1,300,000 (1,300,000)	1,300,844 (1,300,844)	11.5 (11.5)	— (—)	— (—)	— (—)	11.5 (11.5)
金融債券	700,000 ( 700,000)	700,170 ( 700,170)	6.2 ( 6.2)	— (—)	— (—)	— (—)	6.2 ( 6.2)
普通社債券 (含む投資法人債券)	4,640,000 (4,640,000)	4,644,934 (4,644,934)	41.2 (41.2)	— (—)	— (—)	— (—)	41.2 (41.2)
合 計	7,170,000 (7,170,000)	7,177,102 (7,177,102)	63.6 (63.6)	— (—)	— (—)	— (—)	63.6 (63.6)

\*（ ）内は非上場債で内書きです。

\*組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

\*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

## (B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘柄	柄	第105期末			
		利率	額面金額	評価額	償還年月日
<b>地方債証券</b>		%	千円	千円	
北海道	公募平成21年度第2回	1.66	100,000	100,336	2019/5/29
京都府	公募（5年）平成26年度第1回	0.214	30,000	30,007	2019/4/30
愛知県	公募平成21年度第3回	1.66	100,000	100,455	2019/6/26
川崎市	公募第39回	0.209	100,000	100,004	2019/3/20
千葉市	公募平成21年度第1回	1.59	200,000	200,349	2019/4/26
小	計		530,000	531,152	
<b>特殊債券(除く金融債)</b>					
日本政策金融公庫債券	政府保証第27回	0.372	60,000	60,108	2019/8/19
日本政策投資銀行社債	財投機関債第26回	0.573	100,000	100,146	2019/6/20
地方公営企業等金融機構債券	第3回	1.65	250,000	250,466	2019/4/26
日本政策金融公庫社債	第60回財投機関債	0.001	100,000	100,001	2019/5/13
東日本高速道路	第26回	0.305	100,000	100,079	2019/6/20
東日本高速道路	第27回	0.248	60,000	60,038	2019/6/20
東日本高速道路	第41回	0.005	100,000	100,001	2019/6/20
東日本高速道路	第49回	0.001	300,000	300,003	2019/6/20
鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券	財投機関債第97回	0.001	230,000	230,000	2019/3/20
小	計		1,300,000	1,300,844	
<b>金融債券</b>					
農林債券	利付第766回い号	0.3	100,000	100,009	2019/3/27
農林債券	利付第767回い号	0.3	200,000	200,074	2019/4/26
しんきん中金債券	利付第293回	0.25	100,000	100,031	2019/4/26
しんきん中金債券	利付第294回	0.25	100,000	100,047	2019/5/27
商工債券	利付（3年）第195回	0.03	200,000	200,008	2019/4/26
小	計		700,000	700,170	
<b>普通社債券(含む投資法人債券)</b>					
中国電力	第390回	0.14	100,000	100,027	2019/5/24
四国電力	第288回	0.14	40,000	40,013	2019/6/25
九州電力	第408回	1.672	400,000	401,830	2019/6/25
三菱電機	第44回社債間限定同順位特約付	0.27	500,000	500,303	2019/6/5
デンソー	第9回社債間限定同順位特約付	0.203	600,000	600,305	2019/6/20
トヨタ自動車	第10回社債間限定同等特約付	1.772	300,000	301,324	2019/6/20
三菱東京UFJ銀行	第154回特定社債間限定同順位特約付	0.255	500,000	500,128	2019/4/22
三井住友信託銀行	第8回社債間限定同順位特約付	0.234	100,000	100,081	2019/7/22
三井住友銀行	第59回社債間限定同順位特約付	0.254	500,000	500,147	2019/4/19
みずほ銀行	第36回特定社債間限定同順位特約付	0.3	500,000	500,184	2019/4/26
東京センチュリーリース	第15回社債間限定同順位特約付	0.11	100,000	100,013	2019/4/12
トヨタファイナンス	第69回社債間限定同順位特約付	0.02	200,000	200,000	2019/4/26
トヨタファイナンス	第71回社債間限定同順位特約付	0.001	200,000	200,000	2019/6/14
三菱UFJリース	第29回社債間限定同順位特約付	0.304	300,000	300,198	2019/6/12
三菱地所	第108回担保提供制限等財務上特約無	0.631	300,000	300,377	2019/5/31
小	計		4,640,000	4,644,934	
合	計		7,170,000	7,177,102	

\* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。



## 国内その他有価証券

区 分	第105期末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 499,994	% 4.4

\*比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

\*金額の単位未満は切り捨て。

# ノムラ・カレンシー・ファンドースープレナショナル・ボンドークラスA

2018年1月31日決算

(計算期間：2017年2月1日～2018年1月31日)

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	ケイマン諸島籍円建て外国投資信託
運用方針	国際機関債等への投資および為替予約取引等の活用により、インカムゲインの確保とキャピタルゲインの獲得を目指します。 投資対象とする債券は、主として、投資時点において、Aaa格(Moody's社)またはAAA格(S&P社)の格付が付与されている国際機関債(発行体である国際機関が、Aaa格(Moody's社)またはAAA格(S&P社)の格付を受けている場合も含みます。)とします。 なお、Aaa格(Moody's社)またはAAA格(S&P社)の国債に投資する場合があります。
投資対象	国際機関が発行する、信用力の高い、世界の国(新興国を含みます。)の通貨建ての債券
受託会社	グローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー
投資顧問会社	野村アセットマネジメント株式会社
副投資顧問会社	ノムラ・アセット・マネジメントU.K.リミテッド
管理事務代行会社 保管銀行	ノムラ・バンク(ルクセンブルグ)エス・エー

\*作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。

運用計算書  
2018年1月31日に終了する計測期間  
(米ドル)

<b>収益</b>	
銀行口座利息	15,708
債券利息	2,080,963
	<hr/>
収益合計	2,096,671
	<hr/>
<b>費用</b>	
投資顧問報酬	114,232
管理費用	22,838
保管費用	13,977
当座借越利息	927
取引銀行報酬	3,449
銀行手数料	17,035
受託報酬	9,138
法務報酬	463
立替費用	2,282
専門家報酬	20,615
	<hr/>
費用合計	204,956
	<hr/>
<b>純投資損益</b>	1,891,715
	<hr/>
投資有価証券売買に係る損益	(2,809,142)
外国通貨および外国為替先渡し契約に係る損益	2,134,639
	<hr/>
<b>当期実現純損益</b>	(674,503)
	<hr/>
投資有価証券評価差損益	3,795,419
外国為替先渡し契約に係る評価差損益	762,544
	<hr/>
<b>当期評価差損益</b>	4,557,963
	<hr/>
<b>運用の結果による純資産の増減額</b>	5,775,175
	<hr/> <hr/>

組入資産明細  
(2018年1月31日現在)  
(米ドル)

通貨	額面*	銘柄	評価額	投資比率(%)
<b>コートジボワール</b>				
<b>普通社債(固定金利債)</b>				
USD	10,000,000	AFRICAN DEV BK 1.625% 02/10/18	9,977,690	23.15
			<u>9,977,690</u>	<u>23.15</u>
		コートジボワール計	<u>9,977,690</u>	<u>23.15</u>
<b>ルクセンブルグ</b>				
<b>普通社債(固定金利債)</b>				
USD	6,500,000	EIB 1.625% 16/03/20	6,410,612	14.88
USD	4,000,000	EIB 1% 15/06/18	3,988,060	9.25
USD	3,000,000	EUROPEAN INVT BK 1.3750% 15/06/20	2,932,560	6.80
TRY	10,000,000	EIB 9.25% 20/07/18	2,610,177	6.06
			<u>15,941,409</u>	<u>36.99</u>
		ルクセンブルグ計	<u>15,941,409</u>	<u>36.99</u>
<b>イギリス</b>				
<b>普通社債(固定金利債)</b>				
BRL	15,000,000	ERBD 7.5% 16/12/19	4,757,352	11.04
TRY	18,000,000	EURO BK RECON 8.0000% 11/10/18	4,633,062	10.75
			<u>9,390,414</u>	<u>21.79</u>
		イギリス計	<u>9,390,414</u>	<u>21.79</u>
<b>アメリカ</b>				
<b>普通社債(固定金利債)</b>				
BRL	15,000,000	INTL FINANCE CORP 11.5% 30/10/20	5,109,624	11.86
			<u>5,109,624</u>	<u>11.86</u>
		アメリカ計	<u>5,109,624</u>	<u>11.86</u>
		<b>組入資産合計</b>	<u><b>40,419,137</b></u>	<u><b>93.79</b></u>

\* 額面は発行通貨建て表示

## 外国為替先渡し契約

(2018年1月31日現在)

通貨(買い)		通貨(売り)		満期	未実現損益(米ドル)
MXN	290,000,000	USD	14,771,272	February 06, 2018	779,600
TRY	23,000,000	USD	6,050,552	February 05, 2018	63,060
BRL	13,700,000	USD	4,247,403	March 02, 2018	46,460
					889,120

# 野村マネー マザーファンド

## 運用報告書

第16期（決算日2018年8月20日）

作成対象期間（2017年8月22日～2018年8月20日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦通貨表示の公社債等に投資を行い、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行います。
主な投資対象	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行いません。

**野村アセットマネジメント**

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	債券先物比率	純総資産額
		騰落	中率			
	円		%	%	%	百万円
12期(2014年8月19日)	10,199		0.1	59.7	—	8,648
13期(2015年8月19日)	10,206		0.1	44.7	—	22,034
14期(2016年8月19日)	10,211		0.0	68.6	—	19,722
15期(2017年8月21日)	10,208		△0.0	64.0	—	17,754
16期(2018年8月20日)	10,206		△0.0	38.7	—	13,511

\*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

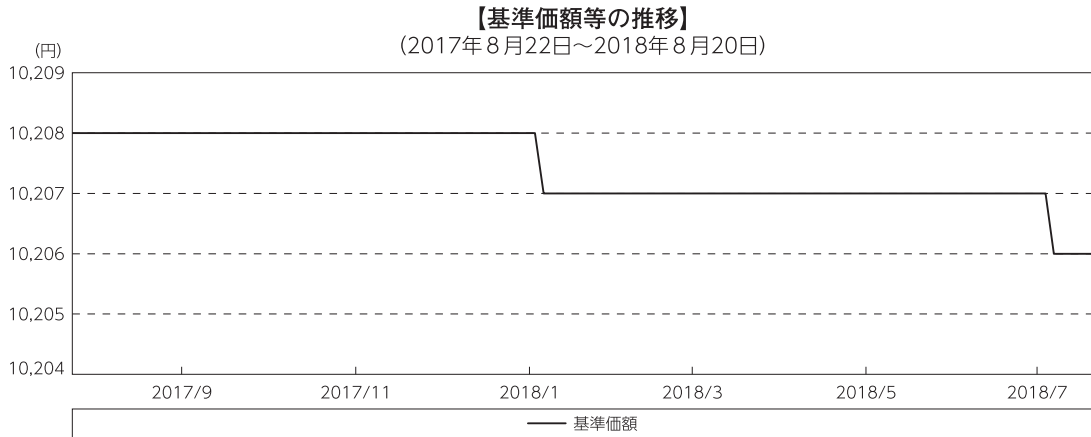
年月日	基準	価額		債組入比率	債券先物比率
		騰落	率		
(期首) 2017年8月21日	円		%	%	%
	10,208		—	64.0	—
8月末	10,208		0.0	56.6	—
9月末	10,208		0.0	63.9	—
10月末	10,208		0.0	51.7	—
11月末	10,208		0.0	66.0	—
12月末	10,208		0.0	51.5	—
2018年1月末	10,208		0.0	46.2	—
2月末	10,207		△0.0	55.1	—
3月末	10,207		△0.0	45.2	—
4月末	10,207		△0.0	46.3	—
5月末	10,207		△0.0	40.7	—
6月末	10,207		△0.0	24.4	—
7月末	10,207		△0.0	35.3	—
(期末) 2018年8月20日	10,206		△0.0	38.7	—

\*騰落率は期首比です。

\*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



### ○基準価額の主な変動要因

投資している短期有価証券やコール・ローンなどのマイナス金利環境を要因とする支払利息等。

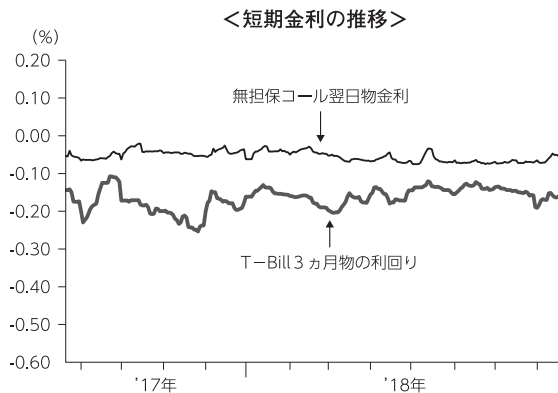


## ○投資環境

国内経済は、高水準にある企業収益や雇用・所得環境の改善継続等を背景に、緩やかな回復基調が続きました。

このような中、日本銀行は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、2018年7月には金融緩和の持続性を高める観点から、政策金利の「フォワードガイダンス」追加、長期金利目標の柔軟化等の「強力な金融緩和継続のための枠組み強化」を導入しました。

マイナス金利政策のもと、無担保コール翌日物金利は-0.05%程度、T-Bill（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りは概ね-0.1%台で推移しました。



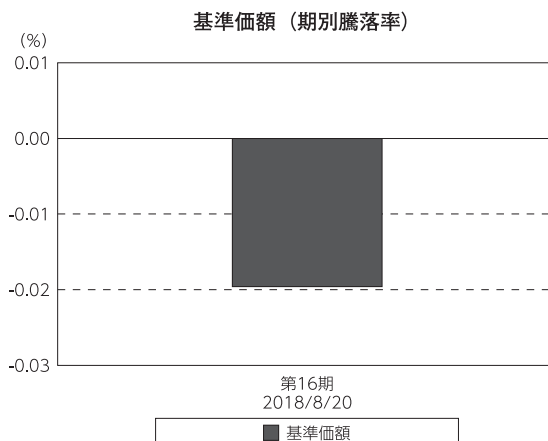
## ○当ファンドのポートフォリオ

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



## ◎今後の運用方針

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図って運用いたします。

日本銀行によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資運用の際のコール・ローンの金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ○1万口当たりの費用明細

(2017年8月22日～2018年8月20日)

該当事項はございません。

## ○売買及び取引の状況

(2017年8月22日～2018年8月20日)

### 公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国	国債証券	690,234	690,233
	地方債証券	3,695,131	— (7,082,100)
内	特殊債券	13,257,967	— (13,445,000)
	社債券（投資法人債券を含む）	7,946,048	— (10,449,000)

\*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

\*単位未満は切り捨て。

\*（ ）内は償還等による増減分です。

\*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

### その他有価証券

		買付額	売付額
		千円	千円
内	コマーシャル・ペーパー	22,599,981	— (19,100,000)

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。

\*（ ）内は償還等による増減分です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年8月22日～2018年8月20日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
		百万円	%		百万円	%
公社債	百万円 24,899	百万円 1,719	% 6.9	百万円 -	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

## ○組入資産の明細

(2018年8月20日現在)

## 国内公社債

## (A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	622,000 ( 622,000)	624,351 ( 624,351)	4.6 ( 4.6)	- (-)	- (-)	- (-)	4.6 ( 4.6)
特殊債券 (除く金融債)	1,340,000 (1,340,000)	1,342,467 (1,342,467)	9.9 ( 9.9)	- (-)	- (-)	- (-)	9.9 ( 9.9)
金融債券	1,750,000 (1,750,000)	1,751,319 (1,751,319)	13.0 (13.0)	- (-)	- (-)	- (-)	13.0 (13.0)
普通社債券 (含む投資法人債券)	1,500,000 (1,500,000)	1,505,675 (1,505,675)	11.1 (11.1)	- (-)	- (-)	- (-)	11.1 (11.1)
合 計	5,212,000 (5,212,000)	5,223,813 (5,223,813)	38.7 (38.7)	- (-)	- (-)	- (-)	38.7 (38.7)

\* ( )内は非上場債で内書きです。

\*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

\*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

## (B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	利 率	当 期 末		償 還 年 月 日
		額 面 金 額	評 価 額	
<b>地方債証券</b>	%	千円	千円	
神奈川県 公募第158回	1.53	30,000	30,150	2018/12/20
大阪府 公募第322回	1.62	252,000	253,785	2019/1/29
大阪府 公募(5年)第100回	0.244	300,000	300,210	2018/11/28
横浜市 公募公債平成20年度5回	1.58	40,000	40,205	2018/12/20
小 計		622,000	624,351	
<b>特殊債券(除く金融債)</b>				
地方公営企業等金融機構債券 政府保証第1回	1.6	110,000	110,259	2018/10/16
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第44回	1.62	130,000	130,696	2018/12/20
地方公共団体金融機構債券 F39回	0.808	100,000	100,026	2018/8/28
中日本高速道路債券 財投機関債第5回	1.86	1,000,000	1,001,484	2018/9/20
小 計		1,340,000	1,342,467	
<b>金融債券</b>				
農林債券 利付第762回い号	0.3	700,000	700,563	2018/11/27
しんきん中金債券 利付第287回	0.3	450,000	450,266	2018/10/26
しんきん中金債券 利付第288回	0.3	600,000	600,489	2018/11/27
小 計		1,750,000	1,751,319	
<b>普通社債券(含む投資法人債券)</b>				
関西電力 第469回	1.7	300,000	300,916	2018/10/25
トヨタ自動車 第8回社債間限定同等特約付	2.01	100,000	100,664	2018/12/20
みずほ銀行 第35回特定社債間限定同順位特約付	0.285	200,000	200,244	2019/1/25
住友不動産 第91回社債間限定同順位特約付	0.355	100,000	100,065	2018/10/29
N T T ドコモ 第17回社債間限定同順位特約付	1.77	200,000	200,305	2018/9/20
N T T データ 第22回社債間限定同順位特約付	1.78	600,000	603,478	2018/12/20
小 計		1,500,000	1,505,675	
合 計		5,212,000	5,223,813	

\* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

## 国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 4,399,994	% 32.6

\* 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

\* 金額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2018年8月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 5,223,813	% 38.7
その他有価証券	4,399,994	32.6
コール・ローン等、その他	3,887,777	28.7
投資信託財産総額	13,511,584	100.0

\* 金額の単位未満は切り捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年8月20日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	13,511,584,519
コール・ローン等	3,870,450,958
公社債(評価額)	5,223,813,703
その他有価証券	4,399,994,713
未収利息	7,275,528
前払費用	10,049,617
(B) 負債	7,765
未払利息	7,765
(C) 純資産総額(A-B)	13,511,576,754
元本	13,238,234,160
次期繰越損益金	273,342,594
(D) 受益権総口数	13,238,234,160口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,206円

(注) 期首元本額は17,392,173,897円、期中追加設定元本額は3,349,850,829円、期中一部解約元本額は7,503,790,566円、1口当たり純資産額は1.0206円です。

## ○損益の状況 (2017年8月22日～2018年8月20日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	61,118,125
受取利息	63,841,658
支払利息	△ 2,723,533
(B) 有価証券売買損益	△ 63,824,623
売買損	△ 63,824,623
(C) 当期損益金(A+B)	△ 2,706,498
(D) 前期繰越損益金	361,951,541
(E) 追加信託差損益金	69,639,721
(F) 解約差損益金	△ 155,542,170
(G) 計(C+D+E+F)	273,342,594
次期繰越損益金(G)	273,342,594

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

ファンド名	当期末 元本額
	円
ノムラスマートプレミアムファンドハイブリッド30(非課税適格機関投資家専用)	5,423,785,404
ノムラスマートプレミアムファンドハイブリッド50(適格機関投資家専ら制限付)	3,324,627,145
野村日経225ターゲット(公社債運用移行型)Dプラス(適格機関投資家専用)	3,161,244,481
野村日経225ターゲット(公社債運用移行型)Eプラス(適格機関投資家専用)	389,222,673
野村日本ブランド株投資(マネーボールファンド)年2回決算型	184,452,030
野村世界高金利通貨投信	151,953,753
野村日経225 ショート・ファンド(適格機関投資家専用)	120,493,731
野村DC運用戦略ファンド	85,180,134
ノムラ・アジア・シリーズ(マネーボール・ファンド)	68,081,734
野村高金利国際機関債投信(毎月分配型)	49,354,623
野村米国ハイ・イールド債券投信(マネーボールファンド)年2回決算型	21,108,661
ネクストコア	19,922,154
野村世界業種別投資シリーズ(マネーボール・ファンド)	15,498,603
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(マネーボールファンド)年2回決算型	13,341,293
野村新中国株投資 マネーボール・ファンド	12,802,829
野村新エマージング債券投信(マネーボールファンド)年2回決算型	11,360,223
野村DC運用戦略ファンド(マイルド)	7,492,405
野村新米国ハイ・イールド債券投信(マネーボールファンド)年2回決算型	6,950,162
第12回 野村短期公社債ファンド	6,664,982
第9回 野村短期公社債ファンド	5,094,831
野村新興国消費関連株投信 マネーボール・ファンド	5,061,963
第2回 野村短期公社債ファンド	3,919,169
野村グローバルCB投信(マネーボールファンド)年2回決算型	3,907,760
野村ビクテ・ヘルスケア マネーボール・ファンド	3,546,551

ファンド名	当期末 元本額
	円
第1回 野村短期公社債ファンド	3,037,421
米国変動好金利ファンド Aコース	2,952,997
第5回 野村短期公社債ファンド	1,959,729
第10回 野村短期公社債ファンド	1,959,728
第11回 野村短期公社債ファンド	1,861,757
第3回 野村短期公社債ファンド	1,371,897
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(マネーボールファンド)年2回決算型	1,230,043
第4回 野村短期公社債ファンド	1,077,981
第6回 野村短期公社債ファンド	1,077,981
野村・グリーン・テクノロジー マネーボール・ファンド	1,019,915
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(円コース)毎月分配型	984,834
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(資源国通貨コース)毎月分配型	984,834
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(アジア通貨コース)毎月分配型	984,834
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型	984,834
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(資源国通貨コース)年2回決算型	984,834
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(アジア通貨コース)年2回決算型	984,834
野村グローバルCB投信(円コース)毎月分配型	984,543
野村グローバルCB投信(資源国通貨コース)毎月分配型	984,543
野村グローバルCB投信(アジア通貨コース)毎月分配型	984,543
野村グローバルCB投信(円コース)年2回決算型	984,543
野村グローバルCB投信(資源国通貨コース)年2回決算型	984,543
野村グローバルCB投信(アジア通貨コース)年2回決算型	984,543
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(円コース)毎月分配型	984,252
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(豪ドルコース)毎月分配型	984,252

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(ブラジルレアルコース) 毎月分配型	984,252
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(円コース) 年2回決算型	984,252
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(豪ドルコース) 年2回決算型	984,252
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(ブラジルレアルコース) 年2回決算型	984,252
野村米国ブランド株投資(資源国通貨コース) 毎月分配型	983,768
野村米国ブランド株投資(アジア通貨コース) 毎月分配型	983,768
野村米国ブランド株投資(円コース) 年2回決算型	983,768
野村米国ブランド株投資(資源国通貨コース) 年2回決算型	983,768
野村米国ブランド株投資(アジア通貨コース) 年2回決算型	983,768
ノムラ・グローバルトレンド(円コース) 毎月分配型	983,672
ノムラ・グローバルトレンド(資源国通貨コース) 毎月分配型	983,672
ノムラ・グローバルトレンド(アジア通貨コース) 毎月分配型	983,672
ノムラ・グローバルトレンド(円コース) 年2回決算型	983,672
ノムラ・グローバルトレンド(資源国通貨コース) 年2回決算型	983,672
ノムラ・グローバルトレンド(アジア通貨コース) 年2回決算型	983,672
野村テンブルトン・トータル・リターン Aコース	983,381
野村テンブルトン・トータル・リターン Cコース	983,381
野村テンブルトン・トータル・リターン Dコース	983,381
野村グローバル高配当株プレミアム(円コース) 毎月分配型	983,091
野村グローバル高配当株プレミアム(通貨セレクトコース) 毎月分配型	983,091
野村グローバル高配当株プレミアム(円コース) 年2回決算型	983,091
野村グローバル高配当株プレミアム(通貨セレクトコース) 年2回決算型	983,091
野村アジアハイ・イールド債券投信(円コース) 毎月分配型	982,898
野村アジアハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース) 毎月分配型	982,898
野村アジアハイ・イールド債券投信(アジア通貨セレクトコース) 毎月分配型	982,898
野村アジアハイ・イールド債券投信(円コース) 年2回決算型	982,898
野村アジアハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース) 年2回決算型	982,898
野村アジアハイ・イールド債券投信(アジア通貨セレクトコース) 年2回決算型	982,898
野村豪ドル債オープン・プレミアム 毎月分配型	982,801
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド(欧州通貨コース)	982,609
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド(円コース)	982,609
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド(豪ドルコース)	982,609
野村日本ブランド株投資(円コース) 毎月分配型	982,609
野村日本ブランド株投資(資源国通貨コース) 毎月分配型	982,609
野村日本ブランド株投資(アジア通貨コース) 毎月分配型	982,609
野村日本ブランド株投資(資源国通貨コース) 年2回決算型	982,609
野村日本ブランド株投資(アジア通貨コース) 年2回決算型	982,609
野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース) 毎月分配型	982,609
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(通貨セレクトコース) 毎月分配型	982,609
野村新世界高金利通貨投信	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(円コース) 毎月分配型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース) 毎月分配型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアルコース) 毎月分配型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース) 毎月分配型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース) 毎月分配型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース) 年2回決算型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアルコース) 年2回決算型	982,608
野村日本ブランド株投資(豪ドルコース) 毎月分配型	982,608
野村日本ブランド株投資(ブラジルレアルコース) 毎月分配型	982,608
野村日本ブランド株投資(円コース) 年2回決算型	982,608
野村日本ブランド株投資(豪ドルコース) 年2回決算型	982,608
野村日本ブランド株投資(ブラジルレアルコース) 年2回決算型	982,608
野村日本ブランド株投資(トルコリラコース) 年2回決算型	982,608
野村新米国ハイ・イールド債券投信(円コース) 毎月分配型	982,608
野村新米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース) 毎月分配型	982,608
野村新米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアルコース) 毎月分配型	982,608
野村新米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース) 毎月分配型	982,608
野村新米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース) 毎月分配型	982,608

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村新米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアルコース) 年2回決算型	982,608
野村PIMCO・グローバル・アドバンテージ債券投信 Aコース	982,608
野村新エマージング債券投信(円コース) 毎月分配型	982,608
野村新エマージング債券投信(ブラジルレアルコース) 毎月分配型	982,608
野村新エマージング債券投信(インドネシアルピアコース) 毎月分配型	982,608
野村新エマージング債券投信(円コース) 年2回決算型	982,608
野村新エマージング債券投信(ブラジルレアルコース) 年2回決算型	982,608
野村新エマージング債券投信(中国元コース) 年2回決算型	982,608
野村アジアCB投信(毎月分配型)	982,608
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(アジア通貨コース) 毎月分配型	982,608
野村グローバルREITプレミアム(円コース) 毎月分配型	982,608
野村グローバルREITプレミアム(通貨セレクトコース) 毎月分配型	982,608
野村グローバルREITプレミアム(円コース) 年2回決算型	982,608
野村グローバルREITプレミアム(通貨セレクトコース) 年2回決算型	982,608
野村日本ブランド株投資(トルコリラコース) 毎月分配型	982,607
野村新エマージング債券投信(豪ドルコース) 毎月分配型	982,607
野村新エマージング債券投信(中国元コース) 毎月分配型	982,607
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(円コース) 毎月分配型	982,607
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(資源国通貨コース) 毎月分配型	982,607
野村日本高配当株プレミアム(円コース) 毎月分配型	982,415
野村日本高配当株プレミアム(通貨セレクトコース) 毎月分配型	982,415
野村日本高配当株プレミアム(円コース) 年2回決算型	982,415
野村日本高配当株プレミアム(通貨セレクトコース) 年2回決算型	982,415
野村高配当インフラ関連株プレミアム(円コース) 毎月分配型	982,029
野村高配当インフラ関連株プレミアム(通貨セレクトコース) 毎月分配型	982,029
野村高配当インフラ関連株プレミアム(円コース) 年2回決算型	982,029
野村高配当インフラ関連株プレミアム(通貨セレクトコース) 年2回決算型	982,029
野村カルミニャック・ファンド Aコース	981,547
野村カルミニャック・ファンド Bコース	981,547
野村通貨選択日本株投信(米ドルコース) 毎月分配型	981,451
野村通貨選択日本株投信(ブラジルレアルコース) 毎月分配型	981,451
野村通貨選択日本株投信(メキシコペソコース) 毎月分配型	981,451
野村通貨選択日本株投信(米ドルコース) 年2回決算型	981,451
野村通貨選択日本株投信(メキシコペソコース) 年2回決算型	981,451
野村エマージング債券プレミアム 毎月分配型	981,451
野村エマージング債券プレミアム 年2回決算型	981,451
ノムラ THE USA Aコース	981,258
ノムラ THE USA Bコース	981,258
米国変動好金利ファンド Bコース	981,066
野村グローバルボンド投信 Bコース	980,489
野村グローバルボンド投信 Dコース	980,489
野村グローバルボンド投信 Fコース	980,489
野村高配当インフラ関連株ファンド(米ドルコース) 毎月分配型	980,297
野村高配当インフラ関連株ファンド(通貨セレクトコース) 毎月分配型	980,297
野村高配当インフラ関連株ファンド(米ドルコース) 年2回決算型	980,297
ノムラ THE ASIA Bコース	979,912
グローバル・ストック Bコース	979,528
グローバル・ストック Dコース	979,528
第7回 野村短期公社債ファンド	686,093
野村通貨選択日本株投信(インドルビーコース) 毎月分配型	568,479
野村豪ドル債オープン・プレミアム 年2回決算型	491,401
野村通貨選択日本株投信(豪ドルコース) 毎月分配型	457,265
野村通貨選択日本株投信(豪ドルコース) 年2回決算型	434,099
野村通貨選択日本株投信(ブラジルレアルコース) 年2回決算型	406,687
野村通貨選択日本株投信(インドルビーコース) 年2回決算型	220,902
野村通貨選択日本株投信(トルコリラコース) 毎月分配型	123,377
野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース) 年2回決算型	98,262
野村米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース) 毎月分配型	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(ユーロコース) 毎月分配型	98,261

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村米国ハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース)年2回決算型	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース)年2回決算型	98,261
野村日本ブランド株投資(南アフリカランドコース)毎月分配型	98,261
野村新米国ハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型	98,261
野村新米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース)年2回決算型	98,261
野村新エマージング債券投信(米ドルコース)毎月分配型	98,261
野村新エマージング債券投信(南アフリカランドコース)毎月分配型	98,261
野村新エマージング債券投信(米ドルコース)年2回決算型	98,261
野村新エマージング債券投信(インドネシアピアコース)年2回決算型	98,261
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(米ドルコース)毎月分配型	98,261
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(米ドルコース)年2回決算型	98,261
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(円コース)年2回決算型	98,261
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(資源国通貨コース)年2回決算型	98,261
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(アジア通貨コース)年2回決算型	98,261
野村米国ブランド株投資(円コース)毎月分配型	98,261
野村テンブルトン・トータル・リターン Bコース	98,261
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(通貨セレクトコース)年2回決算型	98,261
第8回 野村短期社債ファンド	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース)年2回決算型	98,260
野村日本ブランド株投資(南アフリカランドコース)年2回決算型	98,260
野村新米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)年2回決算型	98,260
野村新米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース)年2回決算型	98,260
野村PIMCO・グローバル・アドバンテージ債券投信 Bコース	98,260
野村新エマージング債券投信(豪ドルコース)年2回決算型	98,260
ノムラ THE EUROPE Aコース	98,117
ノムラ THE EUROPE Bコース	98,117
野村グローバルボンド投信 Aコース	98,049
野村グローバルボンド投信 Cコース	98,049
野村グローバルボンド投信 Eコース	98,049
ノムラ THE ASIA Aコース	97,992
グローバル・ストック Aコース	97,953
グローバル・ストック Cコース	97,953
野村通貨選択日本株投信(インドネシアピアコース)毎月分配型	80,956
野村通貨選択日本株投信(中国元コース)毎月分配型	58,906
野村通貨選択日本株投信(中国元コース)年2回決算型	57,201
野村通貨選択日本株投信(トルコリラコース)年2回決算型	52,622
野村通貨選択日本株投信(ロシアルーブルコース)毎月分配型	48,092
野村通貨選択日本株投信(インドネシアピアコース)年2回決算型	36,702
野村通貨選択日本株投信(ロシアルーブルコース)年2回決算型	13,741
ノムラ新興国債券ファンズ(野村SMAI向け)	10,000
野村米国ハイ・イールド債券投信(ユーロコース)年2回決算型	9,826

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村新エマージング債券投信(南アフリカランドコース)年2回決算型	9,826
野村DCテンブルトン・トータル・リターン Aコース	9,818
野村DCテンブルトン・トータル・リターン Bコース	9,818
野村日本ブランド株投資(米ドルコース)毎月分配型	9,809
野村日本ブランド株投資(メキシコペソコース)毎月分配型	9,809
野村日本ブランド株投資(米ドルコース)年2回決算型	9,809
野村日本ブランド株投資(メキシコペソコース)年2回決算型	9,809
野村アジアハイ・イールド債券投信(米ドルコース)毎月分配型	9,808
野村アジアハイ・イールド債券投信(米ドルコース)年2回決算型	9,808
野村米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)毎月分配型	9,808
野村米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)年2回決算型	9,808
野村米国ブランド株投資(米ドルコース)毎月分配型	9,807
野村米国ブランド株投資(米ドルコース)年2回決算型	9,807
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(米ドルコース)毎月分配型	9,807
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(米ドルコース)年2回決算型	9,807
野村新米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース)毎月分配型	9,805
野村新米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)毎月分配型	9,805
野村新米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース)年2回決算型	9,805
野村新米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)年2回決算型	9,805
野村高配当インフラ関連株ファンド(円コース)毎月分配型	9,803
野村高配当インフラ関連株ファンド(円コース)年2回決算型	9,803
野村高配当インフラ関連株ファンド(通貨セレクトコース)年2回決算型	9,803
野村新興国高配当株トリプルウイング ブラジルリアル毎月分配型	9,803
ビムコ・世界インカム戦略ファンド(円コース)	9,803
ビムコ・世界インカム戦略ファンド(米ドルコース)	9,803
ビムコ・世界インカム戦略ファンド(世界通貨分散コース)	9,803
ノムラ新興国債券ファンズ(野村SMA・EW向け)	9,801
野村ブルーベイ・トータルリターンファンド(野村SMA・EW向け)	9,801
野村PIMCO米国投資適格債券戦略ファンド(為替ヘッジあり)毎月分配型	9,797
野村PIMCO米国投資適格債券戦略ファンド(為替ヘッジあり)年2回決算型	9,797
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Aコース	9,797
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Bコース	9,797
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Cコース	9,797
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Dコース	9,797
野村ファンドラップ債券プレミア	9,795
野村ファンドラップオルタナティブプレミア	9,795
野村グローバル・クオリティ・グロース Aコース(野村SMA・EW向け)	9,794
野村グローバル・クオリティ・グロース Bコース(野村SMA・EW向け)	9,794
野村MFSグローバル・リサーチ・フォーカス株式 Aコース(野村SMA・EW向け)	9,794
野村MFSグローバル・リサーチ・フォーカス株式 Bコース(野村SMA・EW向け)	9,794
野村通貨選択日本株投信(ユーロコース)年2回決算型	4,908
野村通貨選択日本株投信(ユーロコース)毎月分配型	1,963

## ○お知らせ

該当事項はございません。

### <お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

(2019年3月15日現在)

年 月	日
2019年3月	—
4月	19、22
5月	27、30
6月	10
7月	4
8月	15、26
9月	2
10月	—
11月	1、11、28
12月	24、25、26

※2019年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。